

# 情報公開文書

## 1 研究の名称

「食道癌根治手術患者における術後身体機能低下のリスク因子の探索とその長期予後への影響に関する後ろ向き観察研究」

## 2 研究の目的と意義

食道癌を含め多くの癌種において術前に筋肉量が長期の予後にも影響することが知られております。そして、最近では筋肉量だけではなく、運動機能も非常に重要な予後因子であることがわかってきています。本研究では術前後の運動機能の低下に影響する因子やその違いによる長期予後への影響を明らかにすることを目的にしております。

## 3 研究機関の名称・研究責任者

【研究代表者(研究責任者)】京都大学 消化管外科 教授 小瀨 和貴

【副研究責任者・情報管理責任者】京都大学 医療安全管理部 助教 錦織 達人

## 4 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称

京都大学 消化管外科 教授 小瀨 和貴

## 5 研究実施期間と方法について

京都大学医学部附属病院消化管外科で2013年1月1日から2019年12月31日までの間に根治手術を受けた食道癌患者さんが本研究の対象となります。利用する情報はカルテに記載されている情報(年齢、性別、術前状態、手術記録、入院経過、術後外来治療経過、病理結果など)です。個人情報に関する情報は収集せず、個人情報が公表される恐れはありません。研究期間は研究機関の長の許可日から2024年6月30日までを予定しています。

## 6 利用または提供を開始する予定日

研究機関の長の実施許可日以降

## 7 倫理審査について

この研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施します。研究方法が医学的に適切であり、患者さんの人権が守られていることが確認されています。

## 8 研究資金・利益相反について

消化管外科教室運営費を主な資金源とし、利益相反に関しては、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査します。

## 9 患者さんおよびその関係者からの求めや相談等について

研究対象になることを希望されない方のデータは研究に使用しませんので、下記窓口までご連絡ください。研究協力を希望されない場合も何ら不利益はありません。他の研究対象者などの個人情報及び知的財産の保護などに支障のない範囲内に限られますが、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手閲覧は可能です。京都大学消化管外科医局の下記問い合わせ先までご連絡ください。(研究担当者：上野剛平、錦織達人)

### 【照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先】

京都大学消化管外科医局 電話: 075-751-3111 (代)

研究代表者(研究責任者)：京都大学 消化管外科 教授 小濱 和貴

副研究責任者・情報管理責任者：京都大学 医療安全管理部 助教 錦織 達人

### 【苦情等の相談窓口】

京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口:

電話: 075-751-4899 E-mail: [ctsodan@kuho.kyoto-u.ac.jp](mailto:ctsodan@kuho.kyoto-u.ac.jp)